



2024. 5. 1 発行

新年度がスタートして一ヶ月、初めはドキドキ緊張気味だった子どもたちも、新しい環境と生活の流れに少しずつ慣れてきている様子で毎日元気に過ごしています。
新しい大人にも慣れてきて「絵本読んでー」「一緒にあそぼう！」と自分の思いを出してくれることもあり、身体と心の距離が縮まってきていることがとても嬉しく思います。
子どもたちは、ちゅうりっぷ組になり“お兄さん・お姉さん”としての姿を意識して、自分で引き出しからズボンやオムツを出したり、ズボンに足を通して履こうとするなど身の回りのことを積極的に取り組む姿も見られます。

しかしまだ、大人に甘えたい気持ちや本当はできるけど手伝って欲しい気持ちもありますので、一人ひとりの気持ちに寄り添い、援助しながら一緒に出来た喜びも共有できるようにしています。幼児組に向けて、自分で出来た喜びを大事にしていきたいと思います。

ちゅうりっぷさんは、天気がいい日は、園庭に出て身体を動かして遊んでいます。大人やお友だちと“まてまて〜”と追いかけてっこをしたり、一緒に築山のすべり台を滑ったりしています。砂遊びでは型抜きなどして感触遊びも楽しんでいます。

室内では、おままごとやブロックや電車あそびなどコーナーごとに選んで遊んでいます。ホールに行くとランポリンや巧技台などで身体を動かしたりして遊んでいます。

雨の日は、幼児棟やホール棟に雨の日散歩にも出掛けています。来月のお弁当の日に向けて、お友だちと二人組で歩くのも進めています。



♪今月のわらべうた♪

♪たけのこ めーだした はなさきゃ ひらいた
はさみで ちょんぎるぞ えっさ えっさ
えっさっさ

リズムに乗って、手を動かし“えっさっさ”でじゃんけん！！
じゃんけんが出来なくても、このリズムが楽しいようです♪
自粛で、子どもたちと一緒にいることも多くなると思いますが、

たけのこ〜 手で三角を作る
花さきゃ〜 手をパーにする
ハサミで〜 手をチョキに！